

◆ 後

記 ◆

本号で高橋の担当するニュースの編集は終わります。本号は本来なら、第三回研究会ニュースを中心とするものと、大会特集の二回に分けて発行する予定のものでしたが、大会が迫ってきたため併せて一回に編集発行したものです。そのため、大変に分厚いものとなりました。今年度は五回発行の予定が四回で終わってしまったことをお詫び申し上げます。その点、ニュース発行はこれで終りという安んじと同時に心残りも致します。もう直ぐ大会です。金沢大学には大変に御迷惑をおかけしましたが、成功裡に終ればと願っております。

村研の恒常的な事務量は、ときに妻子を動員してあて名書きや発送事務などを手伝わせることがあっても、一人でこなせないほどのものではないかとも思います。ですから種々御迷惑をおかけしたことは総て高橋の責任であり、皆様にお詫びしたいと思います。ただ、未経験の仕事のため様子が判らず、年間の仕事の計画と段取りがうまくたてられなかったこと、気がつかずにうっかりしていたことが多々あったことなどは今後の事務運営に参考にしていただきたいと思ひます。前回事務局なり、過去の経験者がこれらの点に協力する態勢がとればと思います。できたら事務処理にも協力態勢が組めれば今後の担当者はやりやすいと思います。代役がないため事務処理が遅れることもなくなるでしょうし、特殊な企画をニュースに盛り込むことも容易になると思ひます。

事務局を担当して気のついたことを二、三書き記しておきます。

(1) 村研ニュースも次回で一〇〇号になります。なにか記念の特集号を出すことを考えてみたいかがでしょう。

(2) 全国に分散している宿題委員は集まりにくいと思います。そのことをふまえて、ニュースを利用した意見の交換が常時おこなえればと思います。

(3) 研究会は今年度は関東地区のみで開催し、通知も同地区会員だけに差上げましたが、各地方でもそれぞれ開催されニュースに報告されればと思います。

(4) 会員の投稿がもっと活発化し、会員によるニュースづくりが積極的になればと思います。

(5) 会員の発表論文、著書が逐次掲載できれば、研究交流に役立ちますし、年報の研究動向執筆も容易になると思ひます。

(6) 事務局交代後の第一回ニュースの編集の際に、前回事務局が協力するとよいと思ひます。大会や総会記事など前事務局に仕事にかかわる記事もありますし、編集にもとまどうことが少なくなり、協力する中で事務引継ぎもスムーズにおこなわれるということもあります。

(7) 事務局は年間計画を早い時期にたてることが重要と思ひます。事務処理の段取りがたてやすいと思ひます。

(8) 事務局移動のたびに会費納入先が変るのは不便ということで、振替の納入は慶応大学に固定しています。そのため、納入と同時に受取りを事務局から差上げられず大変に遅れて会員に御迷惑をおかけしたことが多々ありました。何かうまい方法はないでしょうか。

(9) 前回総会でとり決められました会費長期滞納者へのニュース発送停止の件は、事務局としてニュースを送らないことに大変に心苦しい思いをしました。また事務上混乱をきたすという問題もかかえております。御検討下さい。

(高橋 明 善)